

令和元年度第2回川口市地域保健審議会会議録

- 1 開催日時 令和2年2月10日(月)午後1時30分～午後2時30分
- 2 開催場所 第二庁舎 地階 第1・2会議室
- 3 出席者 **【委員】** 15名
鹿嶋広久、小寺慶二、吉田好子、大久保光人、相川章子、茂野明也
宗像幸彦、渡邊謙、櫻井道子、中尾堯、布施富美子、藤原英樹、茂庭衛
岡田貢司郎、清水健治

【事務局】 9名
鈴木保健部長、小澤保健総務課長、竹内保健所副所長兼管理課長
五十嵐地域保健センター長、片山生活衛生課長、青木衛生検査課長
古川保健総務課庶務係長、中森保健総務課企画係長、横田保健総務課主任
- 4 議題 (1) 小児夜間診療体制の整備について
(2) 令和2年度川口市保健所の運営計画(案)について
- 5 会議の概要 (1) 開会
(2) 議事
(3) その他
(4) 閉会

議 事	
事務局	本日の審議会の開催にあたり、傍聴希望者はいない。
事務局	審議会条例第7条第1項の規定に基づき、会議の議長は会長が務めることとなっているので、以降の進行を鹿嶋会長にお願いする。
議長	本日、委員定数17人のところ15人が出席しており、審議会条例第7条第2項に基づき、この会議は成立する。
議長	議事録作成にあたり、議事録署名人として宗像委員と清水委員を指名する。
議長	議題（1）「小児夜間診療体制の整備について」の説明を求める。
事務局	「小児夜間診療体制の整備について」、資料1に基づき説明する。
委員	受診希望者が直接外来に来た際の対応はどのように考えているのか。自家用車や救急車などで分けられているのか。
事務局	本診療所は、一次救急を担うことから、救急車での来院は想定していない。受診の際は事前に電話をしてもらい、看護師が症状を確認したうえで受診の必要性や二次救急の病院を案内するなどの対応をする。また、混雑時には時間を空けて来院いただくよう案内する。
委員	診療所の設置者は川口市長であると思うが、管理者は誰になるのか。
事務局	管理者は医師とする。医師の派遣については、現在、医師会や大学病院と調整している。
委員	広報かわぐちの他、周知はどのように行っていくのか。
事務局	広報かわぐち3月号裏表紙の4月の小児夜間救急診療当番医ページに本診療所を開設する旨の案内を掲載する。併せて市ホームページへの掲載や幼稚園と小中学校へのちらしの配布を行い周知する。4月号以降も診療所体制について効率的に伝えていきたい。
議長	議題（2）「令和2年度川口市保健所の運営計画（案）について」の説明を求める。
事務局	「令和2年度川口市保健所の運営計画（案）について」、資料2に基づき説

	明する。
委員	健康診査は、対象を40歳以上としているが、30歳以上に対象を拡大できないか。費用の負担が重い人間ドックを避けている人も、健康診査が対象となれば、受診してくれるのではないか。
事務局	対象拡大について、早急な対応は難しい。
委員	食品衛生に関するパトロールは、どの程度詳細に監視をしているのか。
事務局	外国人が経営している店舗もあることから、外国語に対応したリーフレットを配布して指導を行っている。また、ゴミ出しに関しては環境部と合同で監視を行い、適切な出し方等の指導を行っている。
委員	国民健康・栄養調査の調査項目は既に決まっているのか。塩分摂取量等の項目も入れていただきたい。
事務局	当該調査は厚生労働省からの委託であり、調査項目が指定されている。該当地区から抽出された人の血液検査等を行う。塩分については実際の摂取量を調べる訳ではないが、調査と併せて、対象者に適切な塩分摂取量等の指導をしていきたい。
委員	HACCP（ハサップ）による衛生管理について、講習会の実施はどの程度の頻度を予定しているか。
事務局	飲食店営業や菓子製造など、業種ごとに厚生労働省のマニュアルに基づき講習会等を実施し、導入支援を進めていく。具体的なスケジュールはこれから計画していく。
委員	感染症予防対策事業において、検査キットの関係でクラミジア検査を実施しないということだが、検査対象者が横ばいまたは増加している場合には、検査を実施したほうが良いのではないか。
事務局	推進されている検査方法が変更となった。今までの血液検査から尿検査への変更が推奨されたが、現在の保健所施設が尿検査に対応していないためキットが使用できない状態である。県保健所も同様であることから現在委託に出しているが、昨年で旧キットの生産が終了しており今後の対応が難しいとのことである。市保健所が移転した際に検査を再開するかを検討する。

委員	国民健康・栄養調査について、調査結果はどのように活かされるのか。
事務局	厚生労働省からの委託事業であり、市内2地区での調査であることから、市独自に分析・活用等は想定していない。
議長	かかりつけ薬局強化事業における登録薬局での簡易血糖検査について、薬剤師会の小寺委員に伺いたい。
委員	現在市内21薬局でHbA1c簡易検査を行っている。糖尿病は自覚症状無く進行し、普段健診等を受けておらず発見が遅い場合、重症化する恐れがある。薬局のような場所であれば敷居も低く検査を受けやすいのではないか。
議長	時間的に病院へ行けないような人でもこういった簡易検査を活用することが早期発見のためには重要である。
委員	訪問歯科健康診査で寝たきり等の状態の人に関する情報はどのように把握・実施するのか。
事務局	広報かわぐちで周知するほか、家族からの問い合わせや地域包括支援センター等から対応が必要な人の紹介があり、市が委託している歯科医師会から訪問を行っている。
委員	民生委員として高齢者を訪問しているが、こういった診査が必要な人がいた場合は地域包括支援センターへ連絡すれば良いか。
事務局	地域包括支援センターや市長寿支援課等に連絡をいただきたい。
議長	その他、事務局から何かあるか。
事務局	新型コロナウイルス感染症について、現時点での状況を説明する。
委員	マスクの品切れが続いているが、市で確保して、市民に配布を行う考えはないのか。
事務局	窓口業務等の継続のため、まずは職員分を用意したいと考えている。しかしながら、現在は職員分の確保すら難しい状況である。

事務局	<p>令和2年度のスケジュールとしては、第1回を令和2年5月に予定している。現委員の任期が3月で満了となることから、2月を目途に各団体へ推薦依頼をする予定である。また、広報かわぐち2月号で公募委員の募集を行っている。</p>
議長	<p>これにて、滞りなく議事が終了した。</p> <p>以上で令和元年度第2回川口市地域保健審議会を閉会する。</p>